

Call for paper

2nd International Symposium on Self-Organizing Molecular Semiconductors

27th-28th February 2014, Tokyo

液晶物質における電子伝導の発見以来、液晶物質は自己組織的に分子配向を持つ凝集相を形成する新しいタイプの有機半導体（液晶性有機半導体：Self-Organizing Molecular Semiconductors：SOMS）として認識されるようになり、その後、高移動度をもつ液晶物質の探査、ユニークな電気特性の解明、デバイス応用などに関する研究が継続的に行われてきました。

しかしながら、液晶物質における電子伝導の確立から 20 年が経過し、有機半導体としての高い発展の可能性が明らかにされたにもかかわらず、この課題に興味をもつ研究者が集い、最新の研究成果を共有し、関連する興味について議論する場がありませんでした。それは液晶と有機半導体との境界領域であることもその理由の一つと考えられます。

こうした背景のもと、科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(CREST)における国際強化の支援を受けて、2012 年 2 月 21・22 日の 2 日間にわたり、第 1 回液晶性有機半導体国際シンポジウムが東京工業大学 蔵前会館にて開催されました。この会議では 18 件の論文と 30 件のポスター発表が行なわれ、国内 29 企業からの参加者を含めて 111 名の参加がありました。

有機 FET や有機太陽電池などへの液晶性有機半導体の工業的な応用に興味を拡大するなか、液晶性有機半導体に関する研究の現状を知り、最先端の研究成果を共有し、今後のさらなる展開を図るための議論の場として、2014 年 2 月 27・28 日に東京において、第 2 回液晶性有機半導体国際シンポジウムを開催することにいたしました。本シンポジウムでは、有機半導体としての液晶物質に関する分子設計、合成、電気伝導に関するモデル化と理論解析、材料物性評価、デバイス作製のためのプロセス技術、デバイス応用などについて、最先端で活躍する研究者を世界中からお招きし、講演をいただくとともに、関連する研究者の研究成果の発表・議論の場となることを期待しております。奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

東京工業大学 半那純一

【開催日時】 2014 年 2 月 27 日（木）、28 日（金）

【開催場所】 東京工業大学 蔵前会館 蔵前ホール(東急目黒・大井町線大岡山駅前)
東京都目黒区大岡山 2-21-1

【URL】 <http://www.isl.titech.ac.jp/~hanna/soms/index.html>

【論文募集】 締め切り：1 月 31 日(金)

液晶性有機半導体に関する材料設計、合成、基礎物性評価、電荷輸送に関するモデル化と理論、デバイス作製のためのプロセス技術、有機トランジスタ、有機 EL、光センサ、太陽電池等のデバイス応用についての研究成果について、一般の口頭発表、ポスター発表の論文を募集いたします。発表を希望される方は 1 月 31 日までに、アブストラクト用テンプレート (<http://www.isl.titech.ac.jp/~hanna/soms/abstract.html>) を用いて 1 ページ (A4) のアブストラクトを作成し、事務局 (soms@isl.titech.ac.jp) 宛てにお送りください。

【招待講演者】 下記、候補者と交渉中です。決定し次第 URL に掲載いたします。

Prof. Denis Andrienko (Max Planck Institute, Germany)

Prof. Andre-Jean Attias (Pierre and Marie Curie University - Paris 6, France)

Prof. Masahiro Funahashi, (Kagawa University, Japan)

Prof. Tatsuo Hasegawa (AIST, Japan)

Dr. Yun Ho Kim (Korea Research Institute of Chemical Technology, Korea)

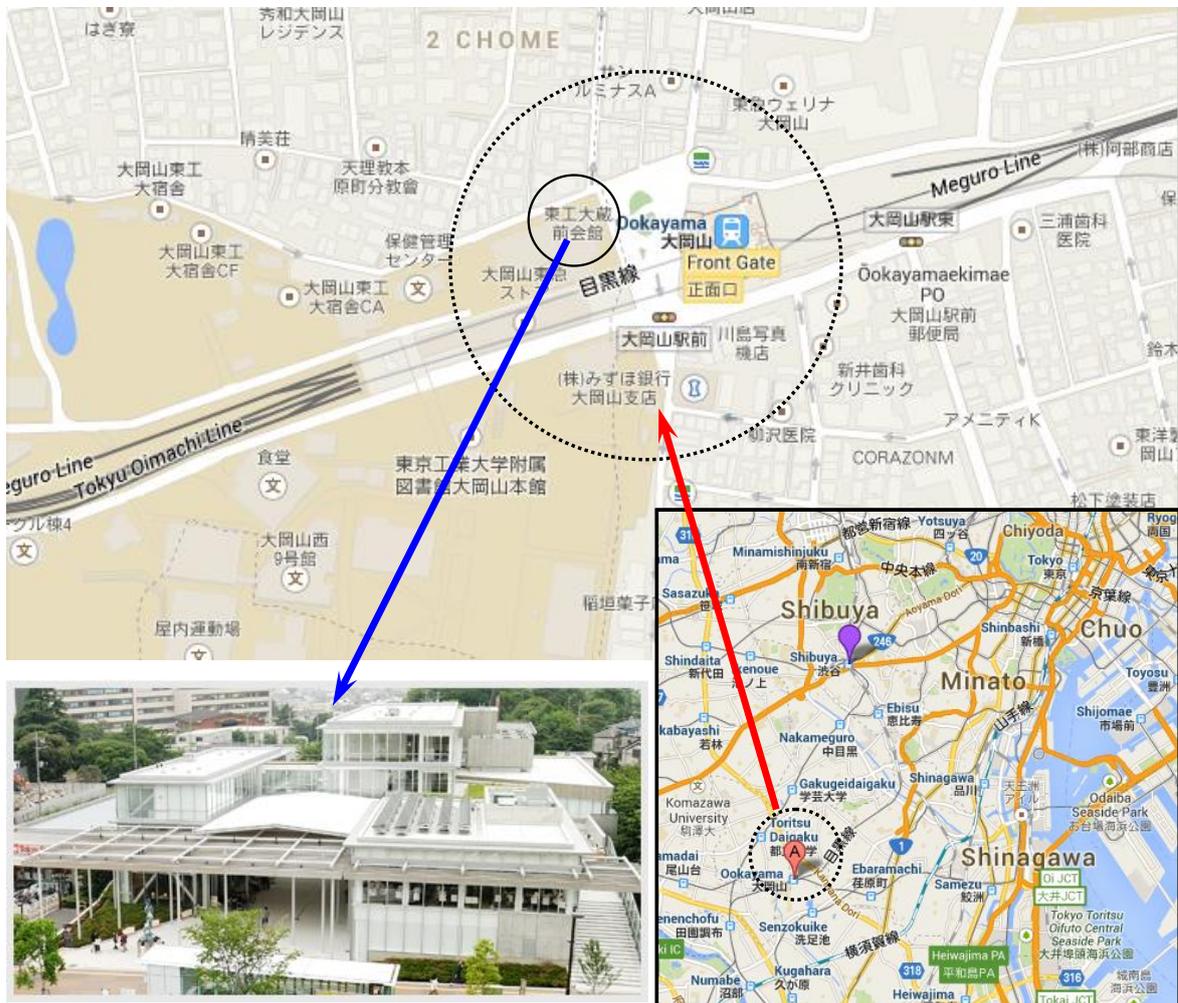
Prof. Jinsang Kim (University of Michigan, USA)

Prof. Shu Seki (Osaka University, Japan)

Prof. Takuma Yasuda (Kyushu University, Japan)

【参加登録】 参加費は無料です。参加を希望される方は2月21日までに
<http://www.isl.titech.ac.jp/~hanna/soms/registration.html>にて参加登録をお願いいたします。

【会場案内】 東急目黒・大井町線大岡山駅下車 1分 大岡山駅前
東京都目黒区大岡山 2-21-1



【国際アドバイザー委員】

Prof. Andre-Jean Attias (Pierre and Marie Curie University - Paris 6, France)

Prof. Yves Geerts (University Libre Bruxelles, Belgium)

Prof. Jun-ichi Hanna (Tokyo Institute of Technology, Japan)

Prof. Bernard Kippelen (Georgia Institute of Technology, USA)

Prof. Iain McCulloch (Imperial College London, UK)

Prof. Klaus Müllen (Max Planck Institute, Germany)

Prof. Mary O'Neil (University of Hull, UK)

Prof. Masanori Ozaki (Osaka University, Japan)

Dr. Yo Shimizu (Advanced Industrial Science and Technology, Japan)

Prof. Claudio Zannoni (University of Bologna, Italy)

主催：第2回液晶性有機半導体国際シンポジウム実行委員会

後援：科学技術振興機構(JST)

協賛：日本化学会、日本画像学会、日本液晶学会、日本写真学会、東京工業大学像情報工学研究所

【問い合わせ先】 第2回液晶性有機半導体国際シンポジウム 事務局

東京工業大学 像情報工学研究所 半那研究室内

soms@isl.titech.ac.jp, TEL: 045-924-5188, FAX: 045-924-5188